

かがわ産業情報21

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

2020 April | vol.76

4

年4回発行

県内事業者の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大 「香川県緊急事態」宣言について

TOP NEWS

第27回 芦原科学賞の受賞者決定
『受賞者の皆様おめでとうございます。』

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」
「かがわ発!先進的ビジネスモデル2019」
受賞者が決定!!

令和2年度 かがわ産業支援財団の重点事業

令和2年度 香川県の主な中小企業支援事業

特集

新かがわ中小企業応援ファンド等事業の
令和2年度支援事業が決定しました!!

かがわ発!元気創出企業

「株式会社ジョーソンドキュメンツ」

わかりやすさを追求し生み出す

さまざまなコンテンツ

技術集団の新たなチャレンジ



新型コロナウイルス感染拡大「香川県緊急事態」宣言について

本県では、新型コロナウイルス感染者が急増しており、県内の状況は、極めて厳しい段階に移ったと言わざるを得ない状況です。

ここで、感染の拡大を何とか食い止めるためには、県民・事業者の皆様には、香川県が「緊急事態」となったということ、を認識いただかなければなりません。

このため香川県は、4月14日に「香川県緊急事態」を宣言し、その後、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が全国に拡大されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えるためには一人一人の行動が大切です。自分だけなら大丈夫という意識を変え、ご家族や大切な人を守るため、県民・事業者の皆様におかれましては「香川県緊急事態」宣言及び「香川県知事から県民の皆様へのメッセージ」へのご協力をお願いします。

1「香川県緊急事態」宣言

https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir1/dir1_6/dir1_6_1/wupnqp200414195032.shtml

2 香川県知事から県民の皆様へのメッセージ

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/chijipage/chijicomment/wzynhe200407192736.shtml>

また、4月11日には、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更されているところです。

3 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針

https://corona.go.jp/expert-meeting/pdf/kihon_h_0411.pdf

また、職場等における感染拡大を防止するため、県内事業者の皆様におかれましては、職場内においても「三つの密」を避けることとともに、事業場内及び通勤・外勤時の感染防止のための行動（手洗い、咳エチケット等）の徹底、在宅勤務（テレワーク）や時差通勤、自転車通勤の積極的な活用、事業場の換気等の励行、発熱等の風邪症状が見られる労働者への出勤免除（テレワークの指示を含む。）や外出自粛勧奨、出張による移動を減らすためのテレビ会議の利用等を強力に呼びかけるほか、繁華街の接客を伴う飲食店等への外出自粛についても、強く促すようお願い申し上げます。

あわせて、香川県から4月13日に県内各市町・各市町教育委員会等に対し、保護者に家庭での保育が可能な場合には、保育所等の利用や幼稚園への登園を控えるように依頼することについて検討をお願いしています。

自治体等から保育所等の利用や幼稚園への登園を控えるよう依頼があった場合、国の「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金」の対象となりますので、当該制度を活用して、有給の特別休暇制度を設けていただき、年次有給休暇の有無に関わらず保護者が利用できるようにお願い申し上げます。

4 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07_00002.html

お問い合わせ先

香川県商工労働部産業政策課

TEL. 087-832-3349

e-mail. sangyo@pref.kagawa.lg.jp

CONTENTS

2020年4月 vol.76 発行（年4回発行）

かがわ産業情報21 4

新型コロナウイルス感染拡大

「香川県緊急事態」宣言について 1

【トップニュース】

第27回 芦原科学賞の受賞者決定

『受賞者の皆様おめでとうございます。』 2

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」

「かがわ発!先進的ビジネスモデル2019」受賞者が決定!! 3

令和2年度 かがわ産業支援財団の重点事業 5

令和2年度 香川県の主な中小企業支援事業 7

【特集】

新かがわ中小企業応援ファンド等事業の

令和2年度支援事業が決定しました!! 9

【財団の活動】

「第54回スーパーマーケット・トレードショー2020」に香川県ブースを出展 11

「東京国際ナショナル・ギフト・ショー」でPR 11

RISTかがわ令和元年度 技術講演会

「マイクロ波技術の食品への利用に関する講演会」を開催しました 11

かがわ糖質バイオフォーラム第12回シンポジウムを開催し、産学官の人的ネットワークの構築を図りました 12

「第8回 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」を受賞されました 12

株式会社伏見製菓所が戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）を活用し事業化に成功! 12

【かがわ発!元気創出企業】

わかりやすさを追求し生み出す

さまざまなコンテンツ 技術集団の新たなチャレンジ

株式会社ジョーソンドキュメンツ 13

第27回 芦原科学賞の受賞者決定 『受賞者の皆様おめでとうございます。』

芦原科学賞の受賞者と業績

芦原科学大賞

テーマ ガスパック包装に利用するバリアシュリンクフィルムの開発

受賞者：大倉工業株式会社

山下 英之、銭瓶 昌明、植松 章人

推薦者：大倉工業株式会社 代表取締役社長 神田 進

業績

受賞者は、トレイに盛り付けられた生鮮食品などに、窒素、二酸化炭素、酸素等のガスを充填しながら、オーバーラップすることを可能とするガスパック包装用バリアシュリンクフィルムを開発した。ガスバリア性を備えることから、精肉や鮮魚の切り身では2日程度、畜肉加工食品では7日程度、賞味期限を延ばしたものが店頭販売されるようになった。近年、大きな社会問題となっている食品ロスを削減することができる。また、優れた透明性や防曇性を有することから、食品の見栄えを向上させることに成功した。

受賞者のコメント

栄えある芦原科学大賞を賜り誠にありがとうございます。ご支援頂いた関係者様に心より感謝申し上げます。ガスパック包装は、賞味期限を延長して食品ロスを削減することが可能であり、社会に貢献できる技術です。その普及を高める為、今後さらにバリアシュリンクフィルムの改善に努めてまいります。



▲ガスパック包装機



芦原科学功労賞

テーマ 工業炉用途炭素繊維強化炭素複合材料の製品開発とそれによる事業拡大

受賞者：東洋炭素株式会社 CC素材製造部 町野 洋、尾藤 信吾、富田 修平

推薦者：東洋炭素株式会社 執行役員 グローバル開発本部長 森下 隆広

業績

受賞者は、機械工具や金属製品を製造する際に行われる熱処理の工程で使用される治具として、従来主流であった金属製の容器から、強度や弾性が高く、耐熱性に優れた炭素繊維強化炭素複合材料(C/C材料)で構成された治具の優位性について検証するとともに、網状やスプリング状の治具などの新たな製品を開発した。また、C/C材料の気孔分布を解析し、オイルの吸収防止に有効な封孔方法の開発、改良を行うことで、70%吸収削減の表面処理技術を開発した。これらによって、工業炉分野でのC/C材料製品の事業拡大に貢献した。

受賞者のコメント

この度は名誉ある芦原科学功労賞を賜りまして、誠にありがとうございます。長年に渡り携わってまいりました工業炉用 C/C 製品の開発と産業への寄与を認めて頂き、大変嬉しく感じています。今後も人の役に立つ技術を香川から発信し、産業振興に貢献する所存でございます。



熱処理用C/C材料製バスケット



◀C/C材料製の網治具



▼C/C材料製スプリング



芦原科学奨励賞

テーマ 皮膚上に耐水性被膜(フィルム)を形成する外用製剤の研究開発

受賞者：有限会社日本健康科学研究センター 岩倉 泰一郎

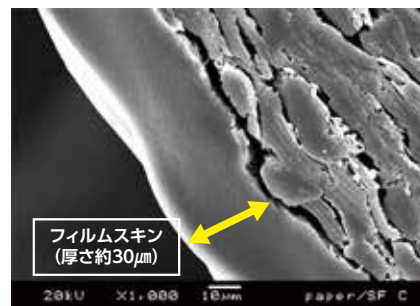
応募者：有限会社オルカ 代表取締役 三野 幸一

研究評価

受賞者は、肌に塗擦後、皮膚上に耐水性被膜を形成するフィルムスキンを開発することによって、パップ剤や軟膏剤等、汗や水で落ちやすい点や剥離時の皮膚への負担等、従来の外用製剤の弱点を解決し、効果の確実性と持続性を改善することに成功した。現在、医薬部外品や化粧品分野で商品化されているが、今後は医療分野(例：白癬菌対策)や介護分野(例：床ずれ対策)、感染症対策(例：マラリアやデング熱)等にも応用が期待できる。

受賞者のコメント

栄誉ある芦原科学奨励賞を賜り誠に有難うございます。閃きから15年の研究開発を通して確立したフィルムスキン技術が医療、介護、化粧品等に広く応用され、少しでも社会に貢献出来ることを願っています。香川発の新技術の発展に更なる努力精進することを心に強く誓っています。



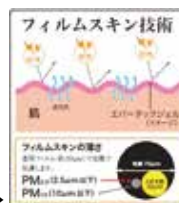
フィルムスキン
(厚さ約30μm)

▲塗布後に紙の表面に形成されたフィルムスキンの断面部(×1000)

▼商品例 保湿剤



フィルムスキン
技術の構造



「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」 「かがわ発!先進的ビジネスモデル2019」受賞者が決定!!

公益財団法人かがわ産業支援財団では、香川の将来を担う革新的ベンチャー企業の創出・育成を図るため、創造的な技術や商品、サービスなどを自ら新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを昨年9月から11月にかけて募集しました(平成23年度から年1回開催で、今回で9回目)。

今回は15件の応募があり、このうち一次・二次審査を経て、最終審査に残った4プランの公開プレゼンテーションによる本選審査会が、去る2月5日、サンメッセホール(サンメッセ香川2階)にて開催され、最優秀賞1件、優秀賞2件が選定されました。

また、これらとは別に、既に独創的なビジネスプランを樹立・実践し、実績を挙げた先進的ビジネスモデルも併せて募集したところ、3件の応募があり、審査委員会で審査した結果、大賞1件、優秀賞2件が選定され、その表彰式及びプランの発表会が、同会場にて開催されました。それぞれの入賞者とビジネスプランは次のとおりです。



「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」

最優秀賞

新事業名 ブロックチェーンを活用した医療機関共通診察・予約・呼び出しアプリケーションの開発

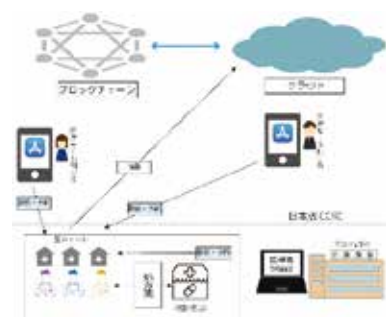
受賞者: 株式会社Dreamly 代表取締役 Lars Larsson(ラーション・ラーシュ)/高松市

事業内容

団塊世代の人口が1,000万人を超えた高齢社会において高齢者を中心に共助で支える「日本版CCRC」を実現しようという動きが活発化しています。本システムは日本版CCRC向けに、ブロックチェーンを活用、データを共有一元管理することで、利用者の医療機関への通院・受診負担を軽減するものです。ブロックチェーンを活用することによりデータの消失や改ざんを無くし、高度なサービスを安全に提供することができます。

受賞者のコメント

Thank you! I am very honored to receive this award!関係者の皆さまには、心から感謝申し上げます。今回賞をいただいたビジネスモデルプラン「ブロックチェーンを活用した医療機関共通診察・予約・呼び出しアプリケーションの開発」は、スマホから予約が可能に・待合室での待ち時間短縮・保険証や複数枚の診察券を持ち歩かなくて済む等のメリットがあります。『不便を便利に』これが、このアプリケーションを作りたいと思ったきっかけ、究極は、Dreamlyを設立した理由でもあります。まずは地域医療から、日本人の生活を楽にします。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



優秀賞

新事業名 建築職人育成事業 匠の学舎アカデミーの運営

受賞者: 一般社団法人匠の学舎 代表理事 白川 勝(しらかわ まさる)/琴平町

事業内容

現在建設業界は慢性的かつ危機的な職人不足を呈しており、建築職人の育成は、喫緊の課題です。匠の学舎では、中学校を卒業した生徒を中心に募集し、中小建設業者と連携のもと、若者に建築職人という明確な目標と技術を持たせると共に、地域に求められ、かつ地域で活躍する人材の育成を行っています。併せて生徒自身の社会人力醸成と建築職人の地位向上のため、通信制高校とタイアップし、高校卒業資格取得のサポートも行っています。



優秀賞

新事業名 農商工交流を活発化する農業系 コワーキングスペースの整備と運営

受賞者：株式会社せとうちのずかん
代表取締役 河端 直之（かわばた なおゆき）／土庄町

事業内容

規格外、量が少ない等の理由で利用されにくい地域食材が小豆島には多く見られます。中でも弊社へ持ち込まれる物には、「これを何とかしたい!」という生産者の強い想いが込められた物が多くあります。そこで、農産物を活かした商品開発と販売サポートを目的に、島内の食材、技術、人、情報交流をより活発にするための協働拠点―農業系コワーキングスペースの設立に至りました。ローカルブランドを支える地域産業再生のお手伝いを目指して参ります。



飲食スペース・厨房スペースを活用した開発ラボ

コワーキングスペース
(協働作業スペース)
「Labo Setozu」

会員登録制での使用(マッチングシステム・設備の利用)

「かがわ発!先進的ビジネスモデル2019」

大賞

事業名 小麦と大麦の未知の“機能性”と“美味しさ”を融合してヘルスケア食分野を開拓する

受賞者：吉原食糧株式会社 代表取締役社長 吉原 良一（よしはら りょういち）／坂出市

事業内容

食の「機能性」と「美味しさ」を両立させ、成長するヘルスケア食分野へ参入しシェア拡大を目指している。香川県及び海外の小麦と大麦をオープンイノベーションの概念を用いて、新技術(微粉碎、粉体の成分抽出・解析、細胞・動物による機能性解析等)によって未知の機能を探索する。それらの機能を融合して新たな付加価値の高い粉体及び食品を開発し全国に販売を広げている。また、讃岐平野は古代から麦生産が盛んであり、食文化的にも重要な役割を果たしてきた。これらの史実から香川県産麦のストーリーを持たせて販売の展開を図る。

受賞者のコメント

弊社は讃岐うどんやパン、菓子用等の小麦粉を生産する製粉業を営んできました。近年「健康でありたい」との願いとケアは、現代人の美意識にも通ずる」と考え、そのニーズは今後更に広く、深く、長く続くと捉えています。そこで弊社の使命に「麦(小麦と大麦)の未知の“機能性”と“美味しさ”を融合して新しい食の価値を創る」指針を加え、食品開発と販売を進めています。また、讃岐平野は古代から麦生産が盛んであり、食文化的にも重要な役割を果たしてきました。これらの史実から、新開発の製品群に香川県産麦のストーリーを持たせて販売の展開を図りたいと考えています。今回、そのビジネスモデルに大賞を頂き大変光栄に存じます。



優秀賞

事業名 国産米を使用したアレルギー対応菓子製造

受賞者：株式会社禾 代表取締役 中條 淳子（ちゅうじょう じゅんこ）／さぬき市

事業内容

消費量の減少が危惧されている国産米を使い、現在のライフスタイルにあった新しい食べ方を、食物アレルギーや食制限の有る方等も召し上がれる内容の焼菓子にして提案している。令和元年10月津田に工場を移転・新設し、より多くの方々に美味しいおこめのお菓子のご提案が出来るよう精進していきたい。



優秀賞

事業名 オリジナルブランド展開による国内製造改革の実現

受賞者：株式会社ダイコープロダクト 代表取締役社長 川北 康伸（かわきた やすのぶ）／さぬき市

事業内容

1963年創業の手袋とバッグの二刀流工場として自社の強みを最大限に活かしながら、デザイン性と機能性を追及したオリジナルブランドを展開。価格だけではないマーケット競争力のある“自社ブランド”を育成することで安定受注を維持。

流通経路短縮による利益率向上も見込めるため、得られた利益を現場に還元し、人材確保につなげる。そうすることにより、産地の技術の継承と産業の発展を実現していく。



創業・新事業創出等支援

新規創業・創業後支援事業(企業支援課)

創業を目指す方を対象として、必要な知識等に関する講義、創業計画作成演習等を内容とする創業支援塾を開講する。また、創業後間もない方を対象に、相談窓口を設けるとともに、創業の成功事例の発表会を開催するなど、ネットワークづくりを促進する。

よろず支援拠点事業(企業支援課)

中小企業・小規模事業者への支援体制を強化するために、国からの委託により、各都道府県に1箇所ずつ設置される「よろず支援拠点」として、チーフコーディネーター1名と複数のコーディネーターを配置し、他の支援機関とも連携しつつ総合的・先進的経営アドバイス、個別事案に最適な支援チームの編成等によるワンストップの中小企業支援を実施する。

農業の6次産業化等促進事業(ファンド事業推進課)

農林漁業者の6次産業化を支援するため、「かがわ6次産業化推進センター相談窓口」を設置し、専門家等による新商品開発の助言、販路開拓支援など経営の発展段階に応じた個別相談に応じるほか、各種セミナーを行う。

相談指導・専門家派遣事業(企業支援課)

新事業展開等に取り組む県内企業のために、総合相談窓口を設置し、様々な分野の専門家による経営・技術指導や簡易経営診断を行うとともに、依頼に応じ専門家を派遣し、経営課題の解決をサポート。

- 窓口相談：月・火・水
- 相談会：年4回程度(不定期)
- 専門家派遣：2/3補助

プロフェッショナル人材戦略拠点事業(企業支援課)

地域の中小企業の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起し、民間人材ビジネス事業者等と連携し、企業とプロフェッショナル人材とのマッチングを支援することで、プロフェッショナル人材の活用を促進し、企業の経営革新を促し、地域と企業の成長戦略の実現を支援する。

プッシュ型事業承継支援高度化事業(企業支援課)

中小企業・小規模事業者等の事業承継への支援ニーズに対応し、事業承継を促進するために、国からの委託によりコーディネーターを配置し、地域の専門家や支援機関と連携したきめ細やかな個別支援を行う。

助成

新かがわ中小企業応援ファンド等事業(ファンド事業推進課ほか)

「新かがわ中小企業応援ファンド」の運用益等を財源に、独創的な研究開発や販路開拓、生産性向上、人材育成などの事業に助成する。

起業等スタートアップ支援事業(企画情報課)

県内で創業等を行う者に対し、その初期投資に必要な経費の一部を補助することにより、創業等の促進を図る。

(対象事業)

- 情報通信産業型：情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業(新聞業及び出版業を除く。)、デザイン業、ICT・IoTなどの情報通信技術を活用し、新たな付加価値を伴う製品またはサービスを創出する事業
- 地域課題解決型：地域の課題の解決に資する社会的事業

中小企業後継者育成事業(総務課)

中小企業後継者育成のため、中小企業大学校派遣研修及び香川大学大学院地域マネジメント研究科派遣研修に対して助成を行う。

販路開拓

かがわものづくり新技術展示商談会開催事業(取引支援課)

県内企業の優れた技術・製品を大手企業に直接PRする展示商談会を開催し、新規取引の開拓及び広域的な受注機会の増大を図る。

次世代有望分野展示商談会事業(産学官連携推進課)

県内企業の成長分野等(エネルギー・環境、ロボット、自動車関連など)への進出を支援するため、「機械要素技術展」などに「かがわ次世代ものづくり研究会ブース」を出展する。

食品商談会開催事業(企業支援課)

大都市圏等のバイヤーと県内食品産業各社とのマッチングを行う商談会を実施する。

食品見本市出展事業(企業支援課)

香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー」等に、香川県ブースを出展する。

地域資源販路拡大支援事業(ファンド事業推進課ほか)

地域の資源を活用して行う商品開発やブランド力強化、販路拡大などを支援するため、展示会出展などの機会の提供と事業者へのフォローアップ等を実施する。

海外展開支援

地域企業海外販路開拓支援事業(海外展開支援室)

経済のグローバル化が進展し、地域産業においても、海外の市場に目を向け、販路開拓を推進することが求められている中で、新たな海外向けの販路開拓を中心とした各種支援を実施する。

施設利用

頭脳化センター等施設提供事業(施設管理課)

頭脳化センタービル内の「インキュベータールーム」や「ITスクエア」のほか、多目的に利用できる会議室を提供する。また、県有施設「ネクスト香川」・「FROM香川」の管理運営を実施する。

顕彰

かがわ型新ビジネスモデル奨励事業(企業支援課)

創造的な技術や商品、サービスなどを新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、斬新なビジネスプランを募集しコンペを行うとともに、成功した先進的モデルプランを表彰する。

芦原科学賞(産学官連携推進課)

故芦原義重氏(関西電力名誉会長)からの寄付金を基金として、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与した研究者等を顕彰する。

産業技術の高度化

先端技術成果実用化支援事業(技術振興部)

希少糖や糖鎖・複合糖質などの糖質バイオ分野の事業化を支援するため、かがわ糖質バイオフォーラムの運営を行い、研究成果の情報発信や人的ネットワークの構築を図る。

健康関連製品開発事業(技術振興部)

国の地域イノベーション戦略推進地域の選定を受けた「かがわ健康関連製品開発地域構想」を推進するため、医療機器や福祉機器等の製品開発・事業化を支援し、健康関連産業の創出を図る。

研究開発

研究開発事業(地域共同研究部)

これまでの研究活動により蓄積された高温高圧流体技術等を活用し、社会的課題を踏まえたテーマを中心に企業との共同開発研究、開発可能性研究、受託研究を推進するとともに、超臨界流体を活用した疎水化CNF開発研究やマイクロ波技術による機能性食品材料の開発研究を行う。また、実験機器開放や技術指導実験等による新商品開発等の相談・指導を行い、企業等の技術開発を支援する。

食品産業支援事業(地域共同研究部)

「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」を運営するとともに、「新機能性表示食品開発相談センター」において機能性表示食品届出に関する技術指導・相談や届出支援受託業務を実施する。

知的財産の活用支援

中小企業等外国出願支援事業(知的財産支援課)

中小企業者における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等の外国への特許出願等に要する費用の一部を助成する。

香川県発明協会事務運営事業(知的財産支援課)

一般社団法人香川県発明協会の行う発明奨励事業や青少年の創造性開発育成事業等の事務を運営するほか、知的財産権制度の普及を行う。

知的財産支援事業(知的財産普及課)

「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、知的財産の活用を普及する特許流通コーディネーター等が、知的財産の活用に関する情報を収集・提供するとともに、県内企業への訪問等を通じて、知的財産の活用に向けた相談・支援や普及を行う。

知的財産活用促進事業(知的財産普及課)

知的財産を活用した経営に取り組む県内企業等を対象に、かがわ知財経営塾等を開催するとともに、大企業等の開放特許等を県内企業等に紹介するなど、知財マッチングの機会を提供する。

その他

地域技術事業化推進事業(技術振興部ほか)

香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携協定に基づき、同科の後期日程で県内中小企業経営者等を講師とする講座(全15回)を提供する。

令和2年度 香川県の主な中小企業支援事業

事業名	事業内容	2年度事業内容
「かがわ希少糖ホワイトパレー」プロジェクト事業 予算額(千円) 23,670 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	希少糖を本県産業の成長につなげるため、希少糖を用いた食品の開発支援や、希少糖商品の販路拡大の促進などを行う。	○希少糖拠点機能強化事業 ・希少糖を用いた地域食品の開発支援 ○糖質バイオ商品開発支援事業 ・糖質バイオ分野における事業化補助 ○香川の希少糖ブランド化推進事業 ・首都圏の国際食品見本市への出展支援
オリーブ産業強化プロジェクト事業 予算額(千円) 3,969 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	県産オリーブオイルの世界最高水準化を目指すため、オイルの品質向上に必要な技術の高度化を図るとともに、新たなオリーブ商品の開発を支援する。	○オリーブ商品高品質化支援事業 ・オリーブ製品の開発支援 ・オリーブ産業に従事する技術者の基盤強化
K-MIX関連産業育成プロジェクト事業 予算額(千円) 18,996 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	医療や福祉など健康関連分野の事業化を推進するため、健康関連分野での製品開発に必要な情報提供や産学官連携の促進、人的ネットワークの構築を図るとともに、医療機器や福祉用具、ICT製品などの開発を支援する。	○かがわ健康関連製品開発地域構想推進事業 ・首都圏の大規模展示会への出展支援 ・業事相談会の実施 ○健康関連製品開発促進支援事業 ・医療福祉機器、ICT製品等の開発補助 ・医療・福祉現場ニーズ調査の実施
次世代ものづくり産業育成事業 予算額(千円) 193,369 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	本県の強みである、ものづくり基盤技術産業と食品産業の振興を図るため、将来の成長が有望な分野における研究開発や新商品開発の支援、展示商談会などを活用した販路開拓・受注拡大の支援、地域産業に必要な人材の育成支援などを行う。	○かがわSociety5.0(超スマート社会)推進事業 ○CNF等高機能素材製品・環境対応型材料開発支援事業 ○次世代3D積層造形技術関連産業育成事業 ○ものづくり基盤技術高度化支援事業 ○機能性食品産業強化事業 ○機能性食品開発支援事業 ○発酵食品関連産業強化事業 ○冷凍食品産業基盤強化事業 ○エネルギー関連産業育成支援事業 ○スマートエネルギー普及促進事業 ○マーケティング強化支援事業 ○戦略的マッチング推進事業 ○グローバル技術人材育成事業
(再掲)かがわSociety5.0(超スマート社会)推進事業 予算額(千円) 124,769 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	AI、IoTといった先端技術をあらゆる産業に取り入れることにより、人手不足を含めた社会課題の解決できる社会システムである「Society5.0」を推進することで超スマート社会の実現を目指す。	○かがわAIゼミナール開催事業 ○かがわAI+活用支援事業 ○AI等先端技術活用型研究開発支援事業 ○スマートファクトリー活用等事業 ○RPA・IoT導入支援事業
貿易・国際投資支援事業 予算額(千円) 22,986 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	ジェトロ香川の機能を活用して、県内企業等の海外展開の支援を行う。	○ジェトロ香川に設置した「香川県海外ビジネス展開促進センター」において、海外展開に関心のある県内企業等に対して企業訪問し、ニーズに合わせた情報提供、アドバイス、支援事業等の紹介 ○海外展開の実現に向けたきめ細かな支援 ○「海外ビジネス人材育成講座」の開催 など
アジア販路開拓支援事業 予算額(千円) 4,711 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	タイで開催されるMETALEX2020やベトナムで開催されるFBCハノイ2020ものづくり商談会に香川県ブースを出展する。(予定)	○METALEX2020出展支援 会期:2020年11月18日～21日 会場:タイ・バンコク国際貿易展示センター ○FBCハノイ2020ものづくり商談会出展支援 会期:2020年8月27日～28日 会場:ベトナム・ハノイ国立展示建設センター
直行便就航国・地域ビジネス展開支援事業 予算額(千円) 11,922 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	高松空港の国際線就航地域との経済交流をより一層促進するため、県内企業の直行便就航国・地域へのビジネス展開を支援する。	○直行便就航地域現地調査支援事業 ・直行便就航地域への進出や販路開拓を目指す県内企業の現地調査等に要する経費の一部補助 ○台湾販路開拓支援事業 ・台湾政府機関及び経済団体との共催による香川県台湾商談会の開催 ○上海ビジネス展開支援事業 ・上海地域における県内企業の現地視察や販路開拓等に対する支援
海外ビジネスチャンス活用支援事業 予算額(千円) 2,744 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	県内企業の海外展開の状況に応じて、準備段階から契約段階に至るまで総合的な支援を行う。特に、直行便就航地域、欧州連合加盟国やTPP11署名国を対象とするものについては、重点的な支援を行う。	○海外ビジネスチャンス活用講座開催事業 ・海外でのビジネス展開に役立つSDGsに関する講座の開催 ○海外ビジネス多言語情報発信支援事業 ・対象国・地域の言語等でホームページ・パンフレット等の作成に要する経費を補助 ○海外認証等取得支援事業 ・海外取引に必要な認証等の取得に要する経費を補助 ○海外ビジネス展開専門家活用支援事業 ・契約書作成などを行うために弁護士等の専門家への相談等に要する経費を補助
企業誘致助成制度 予算額(千円) 2,687,764 担当課 企業立地推進課 電話番号 087-832-3354	県内に工場、試験研究施設、情報処理関連施設、物流拠点施設、地方拠点強化施設等を設置する企業に対して助成金を交付することにより、企業立地を促進する。	○助成対象:工場や試験研究施設等の区分に応じて定める投下固定資産額、新規雇用等の要件を満たすもの ※助成対象に情報通信関連産業の業種を追加 ○助成額:投下固定資産額等を基礎に算出した額(対象施設の区分により助成率が異なる) ※工場の場合 ・助成率 投下固定資産額の10～15% 投下固定資産額が10億を超える部分については助成率を5ポイント引き下げ ・10人を超える新規常用雇用に対する助成あり ・助成限度額 5億円

事業名	事業内容	2年度事業内容
企業立地に伴う新規雇用の補助制度 予算額(千円) 3,000 担当課 企業立地推進課 電話番号 087-832-3354	香川県企業誘致条例に定める助成対象施設を新設又は増設した中小企業に対し、事業開始までの間に必要となる新規常用雇用者の確保に要する経費を補助する。	○補助対象者 ・香川県企業誘致条例に基づく「助成対象企業」として指定を受けていること ・ただし同条例に基づく助成金の交付申請を行わない企業に限る。 ・中小企業であること ・補助対象期間内に5人以上の新規常用雇用の実績があること ・新たに取得した施設で勤務していること ○補助対象経費 ・新規常用雇用者の確保に必要な次の経費 ・求人広告費 ・人材紹介経費 ・企業説明会及び就職説明会に係る経費 ○補助率 ・要した経費の1/2以内(補助上限100万円) ○対象期間 ・事業開始日の1年前の日から事業開始日(但し、事業計画の提出日以降に限る) ○申請期間 ・事業開始日から1年以内
地域未来投資促進法支援制度 予算額(千円) ー 担当課 企業立地推進課 電話番号 087-832-3354	地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域経済を牽引する事業(地域経済牽引事業)を支援する。	○要件 ①着工前に県に地域経済牽引事業計画を申請し、承認を受けること。 ②設備取得前に国に先進性の確認申請を行い、先進性の確認を受けること。 ○優遇措置 不動産取得税の免除:土地の税率3%⇒0%、家屋の税率4%⇒0% ※その他、国税の優遇措置あり
事業承継支援事業 予算額(千円) 3,330 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	専門事業者を活用した事業承継計画の策定等への補助や事業承継税制の認定を通じて、円滑な事業承継を支援する。	○事業承継支援事業費補助金 ・支援機関の支援を受けたうえで、専門事業者に対して委託する経費の一部を補助 ①事業承継計画の策定等 補助率 1/2(上限30万円) ②M&Aの仲介委託等(譲渡側に限る) 補助率 1/3(上限30万円) ○事業承継税制の認定 ・事業承継の際の相続税・贈与税の納税猶予を受けるための認定
中小企業BCP策定運用促進事業 予算額(千円) 6,875 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	県内中小企業が災害等による事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続や早期復旧ができるようBCP(事業継続計画)策定を促進する。	○中小企業BCP策定セミナー ・中小企業を対象にした、BCP策定セミナーの開催 ○中小企業BCP個別相談会 ・各中小企業が抱える個々の課題についての具体的解決に向けて、個別相談会を開催 ○中小企業BCP策定等支援補助 ・専門家の指導等によりBCPの策定・見直しを行った際の経費の一部を補助(補助率1/2、補助上限50万円、製造業のみ) ○香川県中小企業BCP優良取組事業所認定 ・BCPを策定し、事業継続に取り組む中小企業のうち、優れた取組を行っている企業を認定
県内中小企業設備投資資金利子補給補助事業 予算額(千円) 99,100 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	製造業を営む中小企業者の経営基盤の強化や新分野進出などの積極的な事業展開を促進するため、県内中小企業者が行う設備投資のための事業資金の借入金に対する利子補給補助を行う。	○補助対象者 ・県内に本社又は事業所を有する中小企業者(製造業)で、設備投資のために1,000万円以上の資金借入を行ったもの(BCP(事業継続計画)の策定が必要) ○補助対象となる設備投資 ・県内における製造業のための工場又は試験研究施設の新築若しくは増改築又は取得並びに機械及び装置の取得 ○補助率 ・資金借入に伴う利子のうち年利1%以下で算定期間内に支払われた額の10/10 ○補助期間 ・融資実行日から起算して7年以内 ○補助金額の上限 ・100万円/年(香川県中小企業BCP優良取組認定事業所は200万円/年)
中小企業振興融資 予算額(千円) 39,220,000 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3347	県信用保証協会の保証制度を活用し、取扱金融機関と協調して融資を行い、県内中小企業等の事業資金調達の円滑化を図る。	○新規創業支援 ○経営安定支援 ○商店街支援 ○経営革新支援 ○企業立地支援 ○事業承継支援 詳しくは「香川県商工労働部ホームページがんばれ香川」参照 https://www.pref.kagawa.lg.jp/shoko/youushi/youushi/index.html
かがわで就活! 応援事業補助金 予算額(千円) 1,600 担当課 就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ) 電話番号 087-802-4700	ワークサポートかがわでは、県内企業の人材確保拠点として求人・求職のマッチング支援と県内企業の情報発信に取り組んでいる。県外からの就職を支援するため、県外在住の学生が、香川県内で合同就職面接会、企業見学会、インターンシップに参加するときの交通費を助成する。	○補助対象者 県外に在住する学生であって次のいずれかの者 (1)「jobナビかがわ」に登録し、香川県等が主催する合同就職面接会に参加する者 (2)「インターンシップナビかがわ」に登録し、香川県等が主催する企業見学会に参加する者 (3)「インターンシップナビかがわ」に登録し、「インターンシップナビかがわ」で募集する県内企業で実施するインターンシップに参加する者 ○補助対象経費 現住所(県外住所地)から県内の目的地までの間を経済的合理的な経路で往復移動するときに要する交通費 ○補助限度額 10,000円
働き方改革環境づくり助成事業 予算額(千円) 7,111 担当課 労働政策課 電話番号 087-832-3366	働き方改革を推進する宣言を行い、在宅勤務等の柔軟な働き方や、女性、高齢者等の職域拡大を目的とした社内労働環境の整備等の働き方改革の推進を行う企業のうち、優れた事業計画を作成した企業に対し、その取組みに要する経費の一部を助成する。	○補助対象者 県内に本店、支店、営業所等を有する中小企業基本法で定める中小企業 ○補助対象経費 社内労働環境の整備や、柔軟な働き方の推進に必要な設備整備に要する経費(建築工事費、設備工事費、委託料、備品購入費等) ○補助限度額 補助対象経費の1/2以内(当該年度内助成限度額1企業当たり1,000千円)
外国人雇用促進事業 予算額(千円) 10,807 担当課 労働政策課 電話番号 087-832-3400	県内事業所や外国人労働者からの、外国人を雇用する場合の在留資格や労務に関する相談を総合的に受け付ける窓口の運営や、外国人雇用に関するセミナーの開催等を行う。	○外国人労働人材関係相談窓口の運営 ○留学生に対する県内就職支援 ・留学生と企業との交流会・合同企業説明会の開催等 ○外国人材活用のための企業向けセミナーの開催 ○外国人労働者日本語能力向上支援 ・県内企業等が外国人労働者の日本語レベル向上のために行う事業の経費を補助率1/2、補助上限額30万円で補助

新かがわ中小企業応援ファンド等事業の 令和2年度支援事業が決定しました!!

財団では、平成30年度から新かがわ中小企業応援ファンド等事業を開始し、県内中小企業者等に対して、研究開発から販路開拓、生産性向上、人材育成まで総合的な支援を行っています。

令和2年度の助成事業について、令和元年11月27日から令和2年1月24日まで募集を行ったところ58件の申請があり、審査の結果、支援対象事業を次のとおり41件決定しました。

① 新分野等チャレンジ支援事業

採択7件（申請12件） 採択額 6,588千円

事業名	事業者	採択額(千円)
新ブランドを目指し、「さめぎサフラン」を活用したサフランシロップの製造	(株)GRプラント(東かがわ市)	600
県産豆の粉体加工による新商品開発	(有)筒井製菓(高松市)	1,000
ポータブル脱臭機の試作品作製と実証試験	(株)長峰製作所(まんのう町)	1,000
おからの出ない豆粉豆腐(大豆加工食品:仮称ソイサラダ)の開発	仁尾興産(株)(三豊市)	1,000
高度な発酵技術を利用した新規和三盆糖の開発	ばいこう堂(株)(東かがわ市)	1,000
香川の特産物・県産品を使用した燻製しょうゆの開発	(有)宮地醤油醸造場(高松市)	1,000
独自のデザイン・機能等を有する木質製品の開発	(株)モクラス(三豊市)	988

② 競争力強化研究開発支援事業

採択10件（申請18件） 採択額 50,000千円

事業名	事業者	採択額(千円)
知的財産(折畳み自転車の特許)を活用した炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製高性能電動アシスト付き折畳み自転車の研究・開発	(有)アイヴエーション(さめぎ市)	5,000
牛解体における自動背割り装置の開発	インターマシン(株)(丸亀市)	5,000
漏洩ガスの多成分同時検査が可能な重量300gの超小型1ライン赤外分光装置	(株)Soilook(高松市)	5,000
ベルトコンベアモニタリングシステム(IoT)市場投入前の、顧客現地での実機試験品の製作・据付、実証研究	(株)三和テスコ(高松市)	5,000
イヌ・ネコ用テラーメイドガンワクチンの開発	(有)四国動物医療センター(三木町)	5,000
ディープラーニングによる屋外空間移動物体の位置取得精度を飛躍的に向上させる技術	(有)電マーク(高松市)	5,000
メタノール燃料電池を搭載した、移動型非常用電源システムを確立するための実証実験	バリオスター(株)(高松市)	5,000
左右非対称な糖鎖構造を持つ抗体の開発	(株)伏見製薬所(丸亀市)	5,000
マイクロニードル製剤の量産化	(株)メドレックス(東かがわ市)	5,000
視覚障がい者用環境認知デバイス“R t Fグラス”開発事業	(株)Raise the Flag.(高松市)	5,000

③ 県外見本市出展支援事業

採択10件（申請10件） 採択額 3,147千円

見本市名称	事業者	採択額(千円)
第9回全国やきものフェア in みやぎ	(株)川口屋漆器店(さめぎ市)	155
危機管理産業展(RISCON TOKYO)2020	(株)空撮技研(観音寺市)	350
第一回 名古屋 計測・検査・センサ展	(株)コヤマ・システム(高松市)	350
[関西] 外食ビジネスウィーク2020	同さめぎ農園ぐらし(高松市)	350
防犯防災総合展2020	四国プランニング(株)(高松市)	332
[日本の食品] 輸出EXPO2020	宝食品(株)(小豆島町)	350
地方銀行フードセレクション2020	(有)パイプライン(綾川町)	260
リフォーム産業フェア2020	(株)マルトク(高松市)	350
外食ビジネスウィーク2020第2回フードデリバリー・テイクアウト展	(株)マルモ印刷(三豊市)	350
バリアフリー2020	(株)Raise the Flag.(高松市)	300

④ 海外見本市出展支援事業

採択5件（申請8件） 採択額 4,000千円

見本市名称(国地域)	事業者	採択額(千円)
中国廈門国際佛事用品(春季)展示会(中国・福建省)	(株)岩佐佛喜堂(高松市)	800
SIAL CHINA 2020(中国・上海)	鎌田醤油(株)(坂出市)	800
MAN(フランス・パリ)	(有)川北縫製(さめぎ市)	800
New York Mutual Trading Inc.27th Food and Restaurant Expo(アメリカ・ニューヨーク)	タケサン(株)(小豆島町)	800
Veitbeauty Brochure 2020(ベトナム・ホーチミン)	(株)マリーヌ(高松市)	800

⑤ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業

採択4件(申請4件) 採択額 5,996千円

事業名	事業者	採択額(千円)
科学的手法を駆使しつつ、発想を転換し、時代の激変に変化に対応していく為の生産性向上プログラム	一光電機(株)(高松市)	1,667
存亡の機に瀕した国内で唯一引田に残った「むしろ麴」製法を継承する醤油蔵「かめびし」存続のための業務プロセス全体(商品・製造・販売・事務等)の抜本的な改革	(株)かめびし(東かがわ市)	2,000
社内カウンセリング体制の構築による生産性向上	(株)FUJIDAN(東かがわ市)	329
全員参加のVM活動で生産性向上とリードタイム短縮を達成し、顧客満足向上と企業体質の強化を図る	マルワ製袋(株)(さぬき市)	2,000

⑥ 創業ベンチャー支援事業

採択2件(申請3件) 採択額 4,000千円

事業名	事業者	採択額(千円)
“隠れ不登校”生徒サポート事業 香川発「もう一つの我が家」構築	AKARIサポート(植村 仁美)(高松市)	2,000
保多織の新展開ー保多織の新しい可能性を探るー	ツムギ(平川 めぐみ)(高松市)	2,000

⑦ 農商工連携支援事業

採択3件(申請3件) 採択額 8,380千円

事業名	事業者	採択額(千円)
規格外農林水産物等を活用した新たな冷凍食品等の開発と販路開拓	共栄冷凍水産(株)(観音寺市) (連携体:さんわ農夢(株)(三豊市)、 鴨庄漁業協同組合(さぬき市))	2,857
県産花きの新たな流通・販売方法の実証	(株)高松花市場(高松市) (連携体:香川県花き園芸協会(高松市))	3,000
いちご、柑橘など小豆島産農産物を有効活用した常温流通商品の開発と販路開拓	(株)FURYU(小豆島町) (連携体:香川県農業協同組合 小豆島いちご部会(土庄町))	2,523

お知らせ

～中小企業地域資源活用等促進事業助成金を活用～

「地域資源ブランド化・販路拡大支援事業」募集中!!

地域の資源を活用した商品の開発、デザイン開発等によるブランド力の強化、戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある新たな取り組みを支援するため、助成金を交付します。

1. 助成対象事業

地域の資源を活用した自社の商品で次のいずれかに該当するもの。

- 商品の開発(既存商品の改良を含む。)
- デザイン開発等によるブランド力の強化
- 戦略的な情報発信等による販路拡大

※地域の資源とは、「地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針(平成19年総務省、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省告示第2号)」に基づいて香川県が特定した地域産業資源((3)を除く。)、または香川県伝統的工芸品として指定されているものをいいます。

2. 助成率・助成額

助成率:2/3以内

助成額:50万円以上200万円以下

3. 採択予定件数

5件程度

4. 応募方法

申請書様式等は、(公財)かがわ産業支援財団のホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp/>)からダウンロードできます。

応募にあたっては、所定の申請書様式と添付書類に必要事項を記載のうえ、申込先に提出してください。

5. 応募締切

令和2年5月15日(金) 17時 必着

6. 助成の対象となる事業の決定

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査会での審査を経て決定します。

申請者は審査会でプレゼンテーションを行っていただきます。

かがわ産業支援財団

検索

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

「第54回スーパーマーケット・トレードショー2020」に香川県ブースを出展

香川県の主要産業の一つである食品産業の魅力を発信するとともに、関連する企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市「第54回スーパーマーケット・トレードショー2020」に、(公財)かがわ産業支援財団及び香川県が県ブースを出展しました。(県ブースの出展は平成22年度より実施)

【第54回スーパーマーケット・トレードショー2020の概要】

- 会 期** 令和2年2月12日(水)～14日(金) 10:00～17:00 ※最終日は16:00まで
会 場 幕張メッセ(全館) **主 催** 一般社団法人新日本スーパーマーケット協会 **来場者数** 80,428名
特 色 ● スーパーマーケット、百貨店、飲食店、卸、食品メーカー等のバイヤーが多数来場
 ● 決済権を持つ経営者等を積極的に招待
 ● 試食・試飲や実演が可能。
 ● 県内企業が「香川県ブース」として共同出展することにより、地域産品を求めるバイヤーに効果的にPRできるとともに、出展費用が抑えられる

【香川県ブースについて】

- 出展規模** 28小間(21.0m×12.0m) **出展場所** 10ホール 10-208
出展者 52社(中川塾含む)

柿茶本舗(有)、(有)KOMATSU GARDEN DESIGN、瀬戸内讃岐工房(株)、千金丹ケアーズ(株)、せとうちラボラトリー、(有)筒井製菓、(株)鶴亀園、中野産業(株)、(有)パイプライン、(株)ホリ、(株)藤井製麺、(株)まんでがん、(同)藻塩工房、(株)山田家物流、アットハンド(株)、(株)共栄食糧、(株)中野製菓、(株)レアスウィート、(株)アグリオリーブ小豆島、池田漁業協同組合、(株)吉太郎、(株)協栄岡野、(株)サンコウフーズ、宝食品(株)、タケサン(株)、タケサンフーズ(株)、丸島醤油(株)、盛田(株)小豆島工場、安田食品工(株)、中川塾、小豆島食品(株)、(株)瀬戸の香、(株)エフディアイ、(有)さぬき鶏本舗、さんわ農夢(株)、白井の実ファーム、仁尾産商(株)、飯田農園、(株)キングフーズ、くりや(株)、(株)禾、(株)イヅツみそ、(株)紀州屋、共栄冷凍水産(株)、(株)讃岐物産、福弥蒲鉾(株)、(株)OIKAZE、サヌキ食品(株)、(株)グリーンパークまんのう、(有)岡坂商店、(株)瀬戸内オリーブ、三豊オリーブ(株)

- 特 徴 等** ● 香川県ブースの出展者数が過去最大の52社(昨年度出展者数は44社)。
 ● ブース内に「希少糖」、「小豆島」、「三豊市」、「さぬき市」、「観音寺市」ゾーン及び今年度、「丸亀市」、「小豆島町商工会」、「まんのう町商工会」、「JAバンク香川」ゾーンを設け、関係企業を集めることで、バイヤー等来場者に香川県の食品を分かりやすく紹介。(希少糖4社、小豆島12社、三豊市5社、さぬき市4社、観音寺市5社、丸亀市2社、小豆島町商工会2社、まんのう町商工会2社、JAバンク香川2社、一般14社 計52社)



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
 高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

「東京インターナショナル・ギフト・ショー」でPR

香川県の地域資源を活用した商品の魅力を発信することで、県内の中小企業者の販路拡大を支援するため、首都圏で開催される国際展示会「第89回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2020 第7回LIFE×DESIGN」(令和2年2月5日～7日、東京ビッグサイト青海展示棟)への出展支援を行いました。

約6万人が来場し、多くのバイヤーにPRすることができました。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
 高松市林町2217-15 TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

RISTかがわ令和元年度 技術講演会 「マイクロ波技術の食品への利用に関する講演会」を開催しました

(公財)かがわ産業支援財団地域共同研究施設(RISTかがわ)では、高温高圧流体技術やマイクロ波技術の研究を行っています。

この度、県内企業等に、マイクロ波技術活用による新商品開発や製造技術革新の取組みを進めていただくことをめざし、本技術の食品等への先端的活用方法や取組事例を紹介する講演会を開催しました。

- 日 時** 令和2年2月21日(金) 13:30～16:10 **主 催** (公財)かがわ産業支援財団
場 所 香川産業頭脳化センタービル 2階一般研修室 **参加者** 36人

【講演】

- 演 題** 「バイオ技術へのマイクロ波加熱の利用」
講 師 九州工業大学 大学院情報工学研究院 生命化学情報工学研究系 准教授 大内 将吉 氏

【取組事例紹介①】

- 演 題** 「濃縮、蒸留へのマイクロ波加熱の応用」
講 師 高知県工業技術センター
 主任研究員 村井 正徳 氏

【取組事例紹介②】

- 演 題** 「マイクロ波熟成促進装置 Aging Boosterについて」
講 師 四国計測工業株式会社
 主席研究員 國井 勝之 氏



大内 将吉氏



村井 正徳氏



國井 勝之氏

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部
 高松市林町2217-43 RISTかがわ1F TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

かがわ糖質バイオフィォーラム第12回シンポジウムを開催し、産学官の人的ネットワークの構築を図りました

令和2年1月29日、かがわ国際会議場において、県内外から78名の糖質バイオ分野の産学官関係者に参加いただき、「第12回シンポジウム」を開催しました。

今回は、本県に關係する糖質バイオ分野において、研究開発や商品開発に取り組まれている企業の方々に、その成果や取組状況について発表いただきました。

また、初めての試みとして、発表者による座談会を行い、来場者も参加して、開発時の苦労話や今後の展開などについて活発に意見交換いただきました。

【プログラム】

【第1部 研究開発成果発表】

- 「あまくておいしい機能性表示食品 希少糖含有シロップ」
松谷化学工業(株)研究所第一部2グループ 山田 貴子 氏
- 「天然型単糖メチル- α -ソルボシドの機能性とヒトの健康増進の可能性について」
(株)伏見製薬所 港町事業所 糖質・バイオ研究部機能性糖質グループ 竹下 圭 氏

【第2部 商品開発取組状況発表】

- ハイスキー食品工業(株) 代表取締役社長 菱谷 龍二 氏
- (株)ルーヴ 代表取締役社長 野崎 幸三 氏

【第3部 座談会】

- 座長 かがわ糖質バイオフィォーラム副会長・香川大学副学長 徳田 雅明 氏
- 座談会 第1部・第2部発表者



お問い合わせ先

かがわ糖質バイオフィォーラム事務局

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

「第8回 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」を受賞されました

当財団から推薦させていただきましたメロディ・インターナショナル株式会社及び香川大学瀬戸内圏研究センターが経済産業大臣賞を受賞され、令和2年1月27日(月)に東京都内で開催された表彰式で、梶山弘志 経済産業大臣から表彰状が授与されました。

テーマ 世界中の赤ちゃんとお母さんを見守るプラットフォームとIoT型胎児モニターの開発

受賞者 ●メロディ・インターナショナル株式会社
尾形 優子 氏／二ノ宮 敬治 氏／河野 弘就 氏／國方 隆良 氏／杉村 拓也 氏
●香川大学瀬戸内圏研究センター
原 量宏 氏／竹内 康人 氏

概要

産婦人科医のいない地域でも、世界初のIoT型胎児モニターを使った妊婦健診ができるクラウド型プラットフォームの構築と、それに繋がるウェアラブルのIoT型胎児モニターを産学連携で開発。いつでもどこでも、遠隔で赤ちゃんの健康状態がモニター出力できる仕組みを実現。

《受賞理由》

- ▶世界初、時と場所を選ばずに計測可能な分娩監視装置を実現
- ▶据置型モニターの機能をそのままにデータ送信機能を実装



IoT 型胎児モニター



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

株式会社伏見製薬所が戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)を活用し事業化に成功!

財団では、県内中小企業等のものづくり技術の高度化を促進させるため、サポイン事業(経済産業省補助事業)の申請から事業化までのフォローアップを行っています。**株式会社伏見製薬所は、この事業を活用して平成28年度から約3年間研究開発に取り組み、事業化に成功しました。**

プロジェクト名 角質層内セラミドの増加作用を有する合成カエダタンニンの低コスト大量生産技術の開発

研究開発の概要 国内外の化粧品・健康産業では、保湿効果や皮膚のバリア機能を向上させる素材が求められています。そこで、生体適合性が高く、角質層内のセラミドを分解から守り、増加させる効果を持つ合成カエダタンニンの低コスト大量生産技術を開発しました。

研究体制

事業管理機関

公益財団法人
かがわ産業支援財団

研究等実施機関

株式会社
伏見製薬所

国立大学法人
富山大学

事業化の状況 令和元年12月5日、株式会社DHCからカエダタンニン(表示名称:没食子酸無水ソルビトール)含有の化粧品(保湿効果をうたった化粧水)の発売が開始されました。現在、多数のメーカーと交渉中とのことで、順次発売が期待されています。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

常時ご相談に応じていますので、お気軽にご連絡ください。

かがわ発!

元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発! 元気創出企業」。今回は、高松市にある「株式会社ジョーソンドキュメンツ」を訪ねました。

わかりやすさを追求し生み出す さまざまなコンテンツ 技術集団の新たなチャレンジ



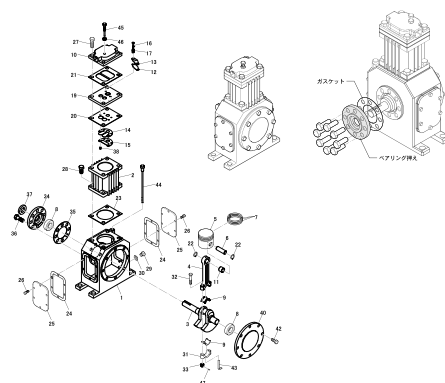
オペレーションマニュアル
メンテナンスマニュアル
パーツマニュアル

シンプルに、わかりやすく。 幅広い分野におけるドキュメントを制作

製造業や民間航空機産業などで必要とされる数々のドキュメントを制作する同社。本社高松と東京を拠点として、産業用製品を中心に、サービスマンや技術者が使用するメンテナンスのために必要なマニュアル、技術者の教育資料、製品にまつわる取扱説明書などを制作している。専門的な知識と経験を持つスタッフは、高松17名、東京23名。少数精鋭の技術者集団だ。

「専門的な分野のお客様がほとんどですので、社員一人ひとりの経験が必要となってきます。一般の人でも理解しやすい形に変化させていくのが我々の仕事ですから」と代表取締役の川田辰男氏。主に制作するのは、半導体関連や産業機械、航空機関連などのドキュメント。経験豊富なスタッフが、文章で説明するのはもちろん、文字だけでは分かりにくいものはテクニカルイラストレーションやCGなどで視覚的に伝えることで「伝わる」ものへと昇華させる。「実際に設計した方の説明はどうしても専門的になり、知識が同程度ないと理解しにくいという場合が往々にしてあります。だからこそ難しい内容をいかにわかりやすく説明できるか、ということを常に考えて提案する我々が必要としていただけるんです。お客様のご要望をお伺いしつつ、よりわかりやすい形を提案できるのが我々の強みですね」と川田さんはいう。

「株式会社ジョーソンドキュメンツ」は、2001年に創業した技術系コンテンツを制作するプロダクション。サービスマンや技術者が使うマニュアル類やeラーニング、安全教育などのドキュメントを制作している。クライアントは専門性が高い企業が多いため、スタッフの知識や技術も重要。お客様へのヒアリングによって得た情報をわかりやすく噛み砕いて、さまざまなコンテンツを生み出している。常に進化し続け、その時代にあったドキュメント(制作物)づくりを追求する同社では、最近エンターテインメント業界で活用されている「xR技術」に着目。新たな技術を用いた今後の展開について川田代表取締役社長にお話を伺った。



テクニカルイラスト



ヒヤリハット
ワンポイントアドバイスシート



代表取締役
川田 辰男 氏

株式会社ジョーソンドキュメンツ

代表者 川田 辰男 氏
所在地 高松市林町351-20
電話番号 087-868-1826

<https://www.jhoson.jp/>





お客様の機密情報を守りつつ 常に最新技術を取り入れる企業姿勢

「お客様の大切な情報を預かる立場にあります。守秘義務を守るのは当たり前ですし、設計図など機密情報の流出は最も気をつけなければなりません」と話す川田さん。より、安心していただけるようにと、2015年には情報セキュリティマネジメントの国際規格「ISO27001」を取得した。1つの業界においては、1社のみと取引を行うことも徹底。競合他社に情報が漏れないということは、お客様にとって何よりの安心感になる。また、お客様の安心を第一に考えた体制づくりが、一人ひとりのスタッフの責任感にも繋がると考えている。

同時に、若者が文字を読まなくなってきたといわれる現代。また海外から受け入れている日本語を話せない労働者の教育。更に文字や言葉で伝えるのが難しい職人のちょっとした感やコツを感覚で伝えるための新しい手法を、お客様に提案するのも同社の役目。現在、最も力を入れているのが、「xR」と総称される「VR」「AR」「MR」の技術をドキュメントへと展開していくこと。エンターテインメント業界でバーチャルリアリティが注目され始めた2016年から、ドキュメントをつくる際にも使えるはずと着目し、視覚的、体感的に伝えることが容易になる「バーチャルドキュメンテーション」として提案し始めた。「その時代にあった新しい技術を用いて、お客様に提案していくことが重要」と川田さんは新しい技術活用に意欲的だ。

最新技術を使うことで より「伝わる」ドキュメントへ

最近では、VRを活用した安全体感教育用のドキュメントを開発。住宅設備メーカーや建設機械メーカーにおいて、高所電柱作業中の落下事故や脚立からの落下、足場からの転落、工場でのワイヤー巻き込まれやパイプ跳ね上がりなど、あらゆる事故を想定した体験ができるというものだ。また、災害想定体感型防災シミュレーション機も開発。VRやCGだけでなく、音や振動、風、熱、ミストを使って、あらゆる災害時の状況をリアルに再現することで、臨場感溢れる体験ができる。VRで一度シミュレーションしておくことで、避難場所の確認や避難方法など、災害時の行動を考えることができるようになる。「今までは、これほど臨場感のある体験はできなかった。万が一の事故を起こす前にVRで疑似体験しておくことで、安全意識を向上することができる。今後、教育には欠かせないものになってくると思うんです」と川田さんはいう。

これまで、数多くの分野において、わかりやすさを念頭にして難しいことを平易に伝えてきた同社。「さまざまな業界のお客様とお取引させていただいているのは我々の強み。そこに新しい技術も加えることで、お客様により良いツールを提供できと思っています」と川田さん。企業の動きをスムーズにするためのドキュメントをこれからもつくりあげていく。



xR技術を活用したバーチャルドキュメンテーションの開発

災害想定体感型
防災シミュレーション機の開発



e-ラーニングコンテンツ



3D CAD (XVL)

制作例：株式会社タダノ
クレーン製品



3D CG (3dsmax)



ヒヤリハットワンポイントムービー

香川県よろず支援拠点に新メンバーが加わりました！

事業紹介

香川でがんばる中小企業・小規模事業の経営者をバックアップ

よろず支援拠点は、中小企業・小規模事業者のための無料経営相談所です。

経営者が抱えるあらゆる課題や悩みを分かち合い、寄り添いながら、解決に向けて全力でサポートします。

さまざまな専門のコーディネーターが、対話を通じて課題の本質を探り、実践的な解決策をアドバイスします。新たに事業をはじめたいとき、資金繰りに悩んだとき、もっと商品を広めたいとき、各経営支援機関とも連携して、経営に関するあらゆる課題に対応します。

令和2年4月から5名の新コーディネーターが加わり、従来に無かった分野の相談対応も可能となりました。事業者の皆様、是非ご利用下さい。

コーディネーター



豊田 浩伸

【トヨタ ヒロノブ】

【商品開発／販路開拓】



梅澤 秀樹

【ウメサワ ヒデキ】

【経営全般／財務】



柴田 直美

【シバタ ナオミ】

【経営全般／創業】



川上 実

【カワカミ ミノル】

【経営全般／品質向上】



竹内 哲也

【タケウチ テツヤ】

【商品開発／販路開拓】



水本 規代

【ミズモト ミコ】

【IT活用／生産管理】



松尾 隆志

【マツオ タカシ】

【経営全般／営業】



小笠原 大知

【オガサワラ ヒロトモ】

【金融財務／資金調達】



野中 利員

【ノナカ トシカズ】

【医療／介護】



島谷 美保

【シマタニ ミホ】

【IT活用／WEB】



香川 貴子

【カガワ タカコ】

【経営全般】

HPリニューアルしました！

🏠 ホームページから

<https://yoro-zu-kagawa.jp/>

FBも始めました！

📘 フェイスブックから

<https://www.facebook.com/yoro-zu.kagawa/>

☎️ お電話から

087-868-6090

📠 FAXから

087-869-3710

お問い合わせ先

〒761-0301 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F
公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課 担当：松村、矢野
TEL:087-840-0391 FAX:087-869-3710

令和2年度 起業等スタートアップ支援補助金の募集を開始しました！

県内で創業等を行う者に対し、その初期投資に必要な経費の一部を補助することで、創業等の促進を図ります。

区分	情報通信産業型	地域課題解決型
補助対象事業	①情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業（新聞業及び出版業は除く。）、デザイン業（ただし、これらの管理業務のみを行う事業は除く。）、 ②ICT、IoTなどの情報通信技術を活用し、新たな付加価値を伴う製品またはサービスを創出する事業	地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、地域に蓄積された強みなどの地域資源を生かして地域の課題の解決に資する事業
補助金額・補助率	200万円以内（2／3以内）	200万円以内（1／2以内）
対象者	県内における創業者、第二創業者又は新分野進出者。	募集開始の日から令和2年12月31日までに、県内において個人開業若しくは株式会社、合同会社、合名会社、合資会社、企業組合、協業組合、特定非営利活動法人等の設立を行う者
対象経費	人件費、事業費、委託費	
募集期間	令和2年4月10日（金）～5月29日（金）17:00必着	

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企画情報課 TEL:087-868-9901 FAX:087-869-3710

詳細はこちらをご覧ください。▶

（情報通信産業型）<https://www.kagawa-isf.jp/sien/hojokin/startup-jouhou.htm>
（地域課題解決型）<https://www.kagawa-isf.jp/sien/hojokin/startup-tiiki.htm>

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F

総務課

TEL(087)840-0348 FAX(087)869-3710

施設管理課

TEL(087)869-3700 FAX(087)869-3703

企画情報課

TEL(087)868-9901 FAX(087)869-3710

ファンド事業推進課

TEL(087)868-9903 FAX(087)869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F

企業支援課

TEL(087)840-0391 FAX(087)869-3710

取引支援課・海外展開支援室

TEL(087)868-9904 FAX(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地16
FROM香川1階

産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム

TEL(087)840-0338 FAX(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地43
RISTかがわ1階

研究管理課・研究開発課

TEL(087)869-3440 FAX(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F

知的財産支援課

TEL(087)867-9577 FAX(087)867-9365

知的財産普及課

TEL(087)869-9004 FAX(087)867-9365